震災に負けない！いざ復興へ！

過去の災害経験活かし、一致団結！

平成２４年の豪雨災害から４年。立て続けに起きた災害でも市民は前を向き一日一日を過ごしました。支援の輪は市内から市外、全国に広がり、災害直後から多くの救援物資、県外からの職員派遣など各地からご支援をいただきました。

(5)

(1)

(6)

(7)

(3)

(4)

(2)

(1)避難所の一の宮小学校の子どもたちが「しえんありがとうまけんばい阿蘇」と支援者にメッセージ (2)阿蘇市地域婦人会が赤十字奉仕団として、炊き出し支援。学校の先生やボランティアも協力し食事を提供した (3) 25 日に一部を除き保育園・幼稚園が再開。山田保育園では久しぶりの給食に「美味しい」と喜んだ (4)多くの救援物資が拠点である旧中通小学校体育館に続々と集まった (5)地震直後から多くの地区で断水が発生。役犬原のポケットパーク湧水には多くの市民が水を汲みに駆けつけた (6)避難者を元気づけようと大分県在住のマジシャン幸多さんが、マジックショーを披露。「少しでも元気になってもらえたら嬉しい」と幸多さん。小学生も「楽しい時間を過ごせた」と笑顔 (7)子どもを元気づけようと日田市の団体が一の宮小学校の子どもたちにミニ四駆を贈った

(13)

(10)

(8)

(9)

(15)

(14)

(16)

(12)

(11)

(8)(9)阿蘇ネイチャーランドがアクティビティ体験会を開き、子どもたちがマウンテンバイクなどで汗を流した (10) 整体師でタレントの楽しんごさんが支援にかけつけ、避難者の疲れを癒した　(11) 災害ごみの仮置場には多くのごみが持ち込まれた　(12) 市内全域で停電が発生、発電機車が全国各地から駆けつけ復旧作業に当たった　(13) 門前町商店街では有志が救援物資や豚汁などの炊き出しを提供。「電気が復旧しない中、温かい食べ物は嬉しい」と市民　(14) 全国各地の駐屯地から 6,000 人を超える自衛隊が集結。炊き出しや給水支援、災害復旧などに尽力 (15) 市内で喫茶店を営む林夫妻が「コーヒーを飲んでリラックスして」とコーヒーを提供。「皆さんに少しでも役に立てたら」とご主人　(16)4 月 26 日にボランティアセンターを開設。「阿蘇に思い入れがある。できる限り支援したい」と宮崎県から来た男性。5 月 3 日までに延べ 678 人が家屋内の片付けなどに汗を流した

1 Q 緊急地震速報って何？

A 強い揺れに備えて身を守るための警報です

緊急地震速報は、大きな地震が発生したときに、地震の発生直後に地震計でとらえた観測データを素早く解析して、震源や地震の規模（マグニチュード）、予想される揺れの強さ（震度）を自動計算し、大きな揺れが来ることを事前に知らせる警報です。

緊急地震速報は、最大震度5弱以上の揺れが予想されるときに、震度4以上の揺れが予想される地域に対し、気象庁の発表を受けて直ちに各自治体に設置してある防災行政無線や、テレビ・ラジオのほか、携帯電話（スマートフォンを含む）の「緊急速報メール」などで伝えられます。

緊急地震速報が発表されてから、実際に強い揺れが来るまでの時間は、長くても十数秒から数十秒と極めて短い時間です。震源の近くでは、強い揺れが早く来るため、緊急地震速報の発表が間に合わないことがあります。また、震度などの予測に誤差が生じることもあります。このような限界を理解しながら、緊急地震速報を適切に活用してください。

2 Q 緊急地震速報を見聞きしたときとるべき行動は？

A 大きな声で周りに知らせ、身の安全を確保！

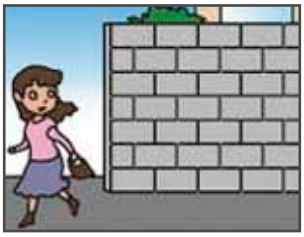
緊急地震速報が発表されてから地震の強い揺れが来るまでは、長くても十数秒から数十秒しかありません。その短い間に何ができるでしょうか。

緊急地震速報を見たり聞いたりした際には、周りの人に声をかけながら『周囲の状況に応じて、速やかにあわてずに、まず身の安全を確保する』ことが重要です。

地震が発生したときの適切な行動は、そのとき、その場所に応じて異なります。日頃から、いろいろな場所で地震が起こったときのことをイメージし、「今、ここで、緊急地震速報を聞いたらどう行動すべきか」を状況に応じて考える習慣をつけましょう。

参考までに、緊急地震速報を見聞きしたときにどのように行動すればよいか、左記に例を挙げます。

屋外にいるとき



- ●ブロック塀の倒壊や自動販売機などの転倒に注意し、これらのそばから離れる
- ●看板などの落下に注意し、建物から離れる

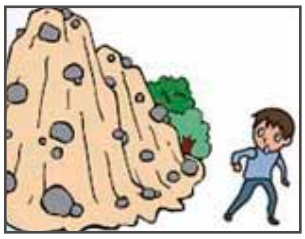
家庭で屋内にいるとき

- ●頭を保護しながら、大きな家具から離れ、机の下などに隠れる
- ●扉を開けて避難路を確保

自動車を運転中のとき

- ●あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とす
- ●ハザードランプを点灯し、道路の左側に停止する

山やがけ付近にいるとき



- ●落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる

Q3 日頃の備えで大事なことは？

A いざというときに身を守るために、耐震対策を！

緊急地震速報は、災害が発生したときに、すぐに身の安全を確保するための行動をとるためのものですが、あらかじめ災害による被害を減らし、身を守るために対策しておくべきこともたくさんあります。

非常備蓄品や持ち出し品などの確認

大災害により電気や水道などのライフラインが止まっても、ある程度は自力で生活できるよう、飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大事です。また、自宅が被災して避難所で過ごさなければならない場合がありますので、避難所生活に必要なものをリュックサックなどに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるよう備えておきましょう。

（出典：政府広報オンライン）

（問い合わせ）総務課防災対策室
☎ 22-3111

避難場所や避難経路の確認

いざというときに、身の安全を守る行動をとったり、安全な場所に避難したりするためには、普段からの準備が必要です。阿蘇市では、避難場所や避難経路などの情報を掲載したハザードマップ（防災マップ）を提供しています。

ハザードマップや地図などを見て、避難場所や避難経路、危険箇所などを確認し、実際に歩いてみて、いざというときスムーズに避難できるように対策を徹底しましょう。